

金融機関対策実態アンケート

集計結果

平成18年9月

調査対象旅館	全国の旅館（無作為抽出）	
有効回答旅館数	23軒	
内 訳	大規模旅館（100室以上）	7軒
	中規模旅館（40～99室）	9軒
	小規模旅館（39室以下）	7軒

株式会社 飯島綜研

【旅館の金融機関対策実態調査アンケート】

Q 1 . 現在貴社では民間・政府系を含め、何軒の金融機関からの借入がありますか？

規模	平均	最大	最小
大	3.6	6.0	0.0
中	4.3	8.0	1.0
小	2.6	4.0	1.0
全体	3.6	8.0	0.0

Q 2 . 借入の口数はそれぞれ何口ですか？

規模	短期			長期		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小
大	5	17	0	11	37	0
中	6	33	0	23	51	5
小	2	6	0	13	32	4
全体	5	33	0	17	51	0

Q 3 . このうち保証協会つきの借入はそれぞれ何口ですか？

規模	短期			長期		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小
大	0	0	0	0	1	0
中	0	2	0	3	8	0
小	0	0	0	5	17	0
全体	0	2	0	3	17	0

Q 4 . 年金利はそれぞれ何%ですか？

短期・長期ごとに最も低い利率・最も高い利率をご記入ください。

短 期	最も低い利率			最も高い利率		
	規模	平均	最高	最低	平均	最高
大	1.551	3.625	0.500	1.875	4.000	1.000
中	2.447	3.700	1.500	3.017	4.000	2.000
小	3.333	4.500	2.375	2.938	3.500	2.375
全体	2.385	4.500	0.500	2.623	4.000	1.000

長 期	最も低い利率			最も高い利率		
	規模	平均	最高	最低	平均	最高
大	1.807	3.125	1.000	3.758	5.050	2.500
中	2.431	6.000	1.000	4.386	6.000	3.000
小	1.721	2.500	0.850	3.432	4.375	2.875
全体	2.035	6.000	0.850	3.911	6.000	2.650

Q 5 . 最近の貴社に対する金融機関の対応に変化がありますか？

いずれかに 印をつけてください。

	大	中	小	全体
1. 特に変化はない	71.4%	55.6%	42.9%	56.5%
2. 変化が見られる	28.6%	33.3%	42.9%	34.8%
無回答	0.0%	11.1%	14.3%	8.7%

【具体的な変化（記述回答）】

大規模

- ・長期プライムレート引き上げに伴う長期借入利率の引き上げ依頼及び通知。
- ・すでに4年前より、停滞・不況に対応して、協同融資による「並列返済」から「直列返済」に改めて頂き、事なきを得ている。政投資金に関しては、種々参考データを頂いて、有難い指導も受けている。

中規模

- ・15年での完済を求められた。
- ・政府系金融機関において担保評価の見直しが行われ（今春）、その結果貸付条件が従来より厳しくなった（貸付限度額、金利など）。
- ・金利上昇（8月～）

小規模

- ・短期借入は無審査になった。
- ・わからないのに、手を入れてきて内部がバラバラ。
- ・一部支店に見られる横柄な態度や、金融機関役員の横暴な考え方の押し付け。

Q 6 . 貴社が今後金融機関に望むことは次のうちどれでしょうか。 印をつけてください。
 (複数回答可)

	大	中	小	全体
1.元金返済の据え置き	18.2%	13.3%	0.0%	10.3%
2.借り換え	27.3%	20.0%	15.4%	20.5%
3.口数の一本化	9.1%	20.0%	23.1%	17.9%
4.金利の引き下げ	36.4%	33.3%	30.8%	33.3%
5.新規金融機関との取引	9.1%	6.7%	7.7%	7.7%
6.その他	0.0%	6.7%	23.1%	10.3%

【その他】

大規模

- ・すでに民間金融は、政投資金返済の後に付けて（直列）もらっているので、民間の借り換え返済据置が出来ている（自己資金投入の上でのこと）。

中規模

- ・現況で、借入返済を 30 年位にすれば固定的な返済可能。無理な経営をする必要もない。正常債務とみなすやり方はないのかと思う。新規設備投資もできるようになる。

小規模

- ・新規融資の実行
- ・返済が厳しくなった時の対応
- ・債権放棄

Q 7 . 今後金融機関は貴社に対し、どのような対応を取ってくると予想していますか。
 印をつけてください。(複数回答可)

	大	中	小	全体
1.変化なし	33.3%	7.1%	20.0%	19.5%
2.貸しはがし（強引な債権回収）	0.0%	7.1%	6.7%	4.9%
3.貸し渋り（新規および追加融資をしない）	8.3%	0.0%	13.3%	7.3%
4.資金面での約定変更	16.7%	28.6%	20.0%	22.0%
5.担保の追加	8.3%	7.1%	6.7%	7.3%
6.保証人の追加	8.3%	7.1%	6.7%	7.3%
7.決算内容やキャッシュフローのチェック強化	25.0%	42.9%	26.7%	31.7%
8.その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q 8 . 各種サービサー（債権回収会社）やファンド（再生を目的とした投資会社）の旅館に対する一連の動きをどう思われますか。具体的にご記入ください。

大規模

- ・メインバンクとの付き合いの歴史や地域の事情により、サービサーやファンドへの対応は異なってくる。単なるマネーゲームに終わらせず、出来れば旧来のオーナーシップを確保しつつ、あるいは近い将来にオーナーシップを取り戻せるような仕組み作りが出来ないものか？
- ・好ましくない事ですが止むを得ない。
- ・旅館ホテル業は地価下落に伴う担保力不足という社会現象を発端とした、金融環境の変化に取り残されたが、地銀や従来の金融機関が成しえなかった不良債権の処理を、サービサーやファンドが積極的に取り組まれて良い事と思う。但し、旅館ホテルの再生には厳しい経営責任の追及もつきもので、5つの社会性「顧客満足の維持」「雇用の継続」「租税支払」「納入業者や地域との共存共栄」「景観美観の維持」などを忘れてはならない。
- ・破綻旅館再生という部分で、旅館を取り巻く地域・取引先等のことを考慮すると良いのでは。
- ・現状、地域金融機関と取引している弊社としては、非常に脅威である。近隣に進出された場合、価格面、街づくりの点から大幅な運営路線の変更もせまられる。
- ・無謀な、勝手な経営をやって負債を積み重ね、拳句の果てに再生機構の手に渡り再生するのでは、まともに命がけで、昼も夜も働き続けて企業を守り続けてきた者はどうなるのか。腹が立つ。

中規模

- ・銀行が設備投資を応援できぬ以上仕方ない。
- ・旅館の根本的な経営改善につなげるというよりも、単純に金融部分の負担軽減による改善を狙ったもので、根本解決になってないのではないかと思う。サービサーも地域のルールを無視しないよう、観光地受け皿に対する責任も負うべし。勝ち逃げしないこと。
- ・今のところ、関係はないが将来ファンド等とのかかわりが出た場合、再生を目的としながら転売目的の現況を見るにつけ、相手先の見極めが大切だと思う。
- ・取引銀行（主力）指導の場合どうすることも出来ない。
- ・考えた事がない。

小規模

- ・ある銀行は特定以外の外回りをやめた。地元企業に見切りをつけたようだ。銀行も金回りの良い都市の企業に、当地の土地・建物を斡旋しようとしていくような気がする。
- ・脅威である。
- ・よく分からなくなってきました。
- ・短期集中での利益を求めていると思うので、長期的には淘汰されるのではないだろうか。
- ・時代の趨勢だから仕方ないと思うが、再生を目的として本当にやっているのか疑問である。
- ・ノーコメント（仕組みを正確に理解していないため）。
- ・短期回収を目指した低価格割金の氾濫で影響大。

Q9 . 金融機関が一部の旅館に対し、債務免除（借入金のカット）を行い、オフバランス化（不良債権をなくすこと）して再スタートをさせることに対してどのように思われますか。

	大	中	小	全体
1.金融機関はもっと積極的に債務免除をすべきである	0.0%	33.3%	37.5%	25.0%
2.一部の旅館にだけ債務免除をするのは、がんばって返済している旅館に対して不公平を生ずるのでやるべきではない	28.6%	33.3%	62.5%	41.7%
3.その他	42.9%	11.1%	0.0%	16.7%
無回答	28.6%	22.2%	0.0%	16.7%

【その他】

大規模

- ・ケースバイケースで一概にこう、とは言えない。ただし、その地域のマーケットの宿泊料金や就業者にダメージを与えるような救済は考え物である。
- ・経営者責任を十分に取らせて残すべき旅館ホテル機能は残すべき。なくなっても良いと地域の評価（商売敵の感覚でなく）がある旅館ホテルは再生されないのは仕方ない。地域に必要不可欠との評価のある旅館ホテルは、経営者責任を十分に取って、前項の5つの社会性を満たして再生すべし、と思う。
- ・一部の旅館にだけ行うというのは不公平に感じるが、旅館産業の存続の為に、状況に応じたかたちで債務免除を行うべきである。
- ・国や市町村が、倒産企業をなくして税収源を作る、明るい産業界・輝く経済地域を創造することが、使命であろうこともわからぬではないが、まともなものとならずものが見分けも付かぬ同一レベルで「ロンダリング活動」では、やりきれない。どこか見分けがつくようにペナルティがあっても良いのではないか。

中規模

- ・固定金利の高い時の債務がしばらくそのままであったので、現在は低くしてもらっているが、過去の借入時の約定はそのまま、特別に金利免除なのでいつ上げられるのか怖い。

小規模

- ・新規融資を希望した時に応じて来れずに後ろ向きの融資であり、かえって金額が大きくなり融資した割に効果が上がらない。
- ・旅館は、現在飽和状態なので潰してほしい。
- ・免除も地域一律平等にやるなら大いにやって欲しい。

Q10. 金融機関からの借入は貴社の経営にどのような影響を及ぼしていますか。(複数回答可)

	大	中	小	全体
1. 特に影響はない	28.6%	13.3%	16.7%	17.6%
2. 約定どおりの返済が厳しい	14.3%	33.3%	25.0%	26.5%
3. 資金繰りが不安定である	0.0%	26.7%	25.0%	20.6%
4. 元金の返済ができない	0.0%	6.7%	8.3%	5.9%
5. 追加融資が厳しい	14.3%	13.3%	16.7%	14.7%
6. その他	42.9%	6.7%	8.3%	14.7%

【その他】

大規模

- ・ 金利引き上げに伴う支払利息の増加 収益の圧迫
- ・ 土地・建物の買戻し
- ・ 創業以来の歴史と繁栄の中で、もし金融機関からの融資がなければ、今日は全くないことで、国の資金も民間の資金も有難く感謝している。私は借入融資は投資の為のみで、借金返済のための借入はしたことはない。

中規模

- ・ 今のところ、追加融資を申し込むつもりはなく、キャッシュフロー内で設備投資に持っていく予定だが、5年先10年先の金融を現況でしばると夢がなくなる。考え方もスケールが小さくなる。